

令和元年度 第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 令和元年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿・・・・・・・・・・ P 1
- 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会について・・・・・・・・ P 3
- 【資料2】平成30年度第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の
概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 【資料3】県立高等学校活性化計画における小規模校の取組と
地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業について・・・・・・・・ P 7
- 【資料4】令和元年度の協議について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 【資料5】第3回伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ（報告）・・・・ P 10
- 【資料6】「進学フェスタ」の検証と今後の県立高校の魅力発信について・・・・ P 15
- 【資料7】伊勢志摩地域県立高等学校進学状況（令和元年12月13日）及び
令和2年度入学者選抜の状況（令和2年2月14日現在）・・・・・・・・ P 17
- 【資料8】伊勢志摩地域小規模校の志願・入試状況等の推移・・・・・・・・ P 18
- 【資料9】伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増）・・・・ P 19
- 【資料10】令和6年度を見すえた伊勢志摩地域の県立高校（全日制）
の配置について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20
- 【参考資料1】市町別の中学校卒業生進学先の推移・・・・・・・・ P 21
- 【参考資料2】地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業
各実践パイロット校の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ P 22

令和元年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所属及び名前	出席委員	
1	学識経験者	三重大学 大学院生物資源学研究科 教授 坂本 竜彦	○	新
2	地域有識者	亀谷内科胃腸科 院長 亀谷 章	○	継続
3		鳥羽商工会議所 専務理事 清水 清嗣	○	継続
4		志摩市商工会 事務局長 石野 雅彦	○	継続
5		度会町商工会 事務局長 山北 佳宏	○	継続
6		教育長	伊勢市教育委員会 教育長 北村 陽	○
7	鳥羽市教育委員会 教育長 小竹 篤		○	継続
8	志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一		○	新
9	度会町教育委員会 教育長 中西 正典		○	継続
10	南伊勢町教育委員会 教育長 片山 嘉人		○	継続
11	県立高等学校長代表	芝崎 俊也 (県立宇治山田高等学校)	○	継続
12	小中学校長代表	伊勢市 岡 俊晴 (伊勢市立厚生中学校)		継続
13		鳥羽市 松本 久彦 (鳥羽市立神島中学校)	○	新
14		志摩市 下村 俊之 (志摩市立磯部中学校)		新
15		度会郡 小倉 宝 (大紀町立大宮中学校)	○	新
16	小中学校PTA代表	伊勢市PTA連合会 代表 山下 智史 (伊勢市有緝小PTA)	○	継続
17		鳥羽市PTA連合会 代表 平山 智博 (鳥羽市鳥羽小PTA)	○	新
18		志摩市PTA連合会 代表 関戸 透 (志摩市文岡中PTA)	○	新
19		度会郡PTA連絡協議会 代表 村林 学 (度会郡度会中PTA)	○	新
20	高等学校PTA代表	南勢地区高等学校PTA連合会 代表 南 由香里 (鳥羽高校PTA)	○	新
21	小中学校教員代表	伊勢市 古野 和敏 (伊勢市立城田小学校)	○	継続
22		鳥羽・志摩地域 千草 義輝 (鳥羽市立安楽島小学校)	○	新
23		度会・南伊勢地域 乙守 浩之 (南伊勢町立南勢小学校)		新
24	高等学校教員代表	三橋 哲夫 (県立伊勢工業高等学校)	○	継続

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、伊勢志摩地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の伊勢志摩地域全体における県立高等学校の在り方に関すること
- (2) 伊勢志摩地域の県立高等学校活性化の方策に関すること
- (3) 施設・設備に関すること
- (4) その他検討を要すること

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成24年 6月28日から施行する。

この要綱は平成29年 8月 1日から施行する。

伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会について

1 基本的な考え方

少子化の進行が予測される伊勢志摩地域において、当地域の県立高等学校で学ぶ生徒たちがこれからもいきいきと学ぶことができる学習環境を整え、各県立高校の活力の維持・充実と活性化を図るため、協議を行っています。

2 これまでの経緯

(1) 平成23年度

○平成24年度の協議会において、平成27年度を目途とした小規模校の統廃合や分校化の具体策をまとめることとした。

(2) 平成24年度

○当地域の中学校1・2年生等及びその保護者に対して、高校進学に対する考えや意見を調べるためのアンケート調査を実施

○以下の点を「平成24年度協議のまとめ」（平成25年3月）に反映

- ・平成27年度に南伊勢高等学校度会校舎を1学級とせざるを得ないと考える。
- ・これにより、南伊勢高校は1学年2学級となることから、将来的に南勢校舎・度会校舎を他の高校の分校とすることを検討する必要がある。
- ・鳥羽高校は、総合学科のあり方等、魅力化・活性化について重点的に検討する必要がある。
- ・志摩高校は、引き続き魅力化・活性化について検討する必要がある。
- ・水産高校は、学級減も視野に入れながら、学科・コースのあり方等、魅力化・活性化について検討する必要がある。

(3) 平成25年度

○「専門学科検討ワーキング会議」「鳥羽・志摩・度会地域検討ワーキング会議」を開催し、テーマを絞った協議を開始

○平成33年度を見据えた平成28年度以降の当地域全体の県立高校のあり方について協議を開始

(4) 平成26年度

○ 両ワーキング委員による山口県へのベンチマーキングを実施 → 他県の成果と課題を踏まえて、県立高校が地域活性化や地域貢献に果たす役割という観点から協議

○ <専門学科検討ワーキング会議> 専門学科高校3校（伊勢工業・宇治山田商業・明野）が4学級規模を維持できるうちは、単独校として存続を提案

○ <鳥羽・志摩・度会地域検討ワーキング会議> 各高校が連携して活性化に取り組むべき活動の1つとして「地域防災プロジェクト」の実施を提案／各地域の中学生の進路保障のために、地域の県立高校の存続を提案

(5) 平成27年度

- 鳥羽・志摩・度会地域の中高生による地域防災プロジェクト「東北交流ボランティア」を実施。当地域の高校生・中学生及びボランティアの大学生が宮城県・福島県を訪問し、災害ボランティア活動を行い、地域で活動報告も実施
- 「伊勢志摩地域高等学校活性化を考える会」を地域の7市町すべてで開催し、教育関係者や小中学校の保護者に対して、この地域の少子化に伴う中学校卒業生数の減少の状況等について説明・周知し、質疑応答やアンケートにより意見を交換

(6) 平成28年度

- 「県立高等学校活性化計画」策定にあたって、鳥羽・志摩・度会地域の小規模校のあり方について協議し、学校別に活性化協議会を設置することにより、地域からの主体的な支援策を含め、学校と地域が一体となった活性化に取り組む方向性を確認
- 地域の小中学生やその保護者に対して、各学校の魅力をもっとPRする戦略を強化することを確認するとともに、当地域の県立高等学校合同説明会（進学フェスタ）の実施を決定

(7) 平成29年度

- 伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタを6月10日に実施。小中学生や保護者が各高校の特色を一度に把握できる機会であることから、より多くの参加が得られるよう日程調整し、次年度についても実施することを確認
- 小規模校に設置している学校別活性化協議会における地域と一体となった学校活性化の取組（1年目）の成果と課題を共有し、意見を交換

(8) 平成30年度

- 6月9日に開催した伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタについて、過去2回での成果と課題をふまえ、より多くの参加が得られるよう次年度については時期と開催場所を変更して実施し、検証することを確認
- 地域の小規模校での地域と一体となった学校活性化の取組（2年目）の成果と課題を共有し、今後の伊勢志摩地域の高等学校のあり方など意見を交換

平成30年度第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 平成31年3月4日（月）19時00分から21時00分まで

2 場所 県伊勢庁舎 401会議室 （伊勢市勢田町628-2）

3 主な内容と意見

《小規模校における活性化の取組と成果について》

- 鳥羽高校では活性化協議会を通じて、通学費の補助、鳥羽学の授業への支援、海の博物館での学習など、行政による支援がはじまっている。地元中学校からの進学者を増やすためには、普段から高校と中学校長会、進路担当教員等との密接な情報共有が必要と考えている。
- 高校生が成長した自身の姿を中学生に直接見せるなど、子どもたち同士の交流で高校の魅力を伝えることが一番効果的である。
- 南伊勢高校度会校舎は、度会町内の中学校からの進学だけでなく、地域の学校として、伊勢市内や玉城町内からの入学者で定員を満たすことをめざしている。また、生徒募集には交通アクセスの整備が大きな問題と考えている。
- 志摩市内でも地域によっては、志摩高校と伊勢市内の高校へのバス通学の費用は大差がない。普通科の高校は何をめざしているのかをしっかりと示すことが重要である。
- 地元での進学や就職を希望する生徒は一定数いるが、1学年1～2学級規模の高校でたとえば1教科に1人の教員しか配置されない状況は、生徒にとって良い学習環境とは言えない。小規模校を存続させるのなら、県教委が生徒の学力保障に責任を持つべきである。

《今後の地域の高校のPR活動（第3回進学フェスタ平成31年11月17日（日）いせトピアにて開催）について》

- 過去2回の開催で一定の成果がみられるので、参加者募集等にも協力していく。前日には伊勢市のPTAと保護者の懇談会が開催される予定で、イベントが2日連続になってしまったことが心配である。
- 6月は中体連の大会等もあるため、この日程の方が子どもたちも集まりやすいと思う。ただ、11月であると3年生というよりは中学1、2年生が主たる対象となる。
- 集まりやすい場所と時期であると思うので、PTAでもたくさんの参加者となるように協力していきたい。

- 教員が説明するのではなく、高校生が自分の学校を紹介する進学フェスタのスタイルは、中学生に学校の魅力を直接伝えることができ、効果的である。伊勢市での開催では、伊勢市内の高校に進学意識がある子どもたちの参加にとどまってしまうのではないかと考える。
- 対象が中学3年だけでなく、小学生から中学1、2年生、その保護者と広げているため、早い時期から自分の進路について考える機会となっている。

《その他（伊勢志摩地域の高校の活性化の進め方等について）》

- 学校の活力という観点から考えると、高校には一定の規模が必要であるが、教育の機会均等の面からも、生徒一人ひとりに丁寧に対応していく地域の高校の役割も同様に重要である。
- 地域の小規模校の役割は重要であるが、現状はそれ以上に少子化が進行している。教育の質を保障するためにも、すべての地域の学校をずっと維持していくことは難しいのではないか。その代わりに、たとえば伊勢市内に経済的負担の少ない公的な寮をつくり、地域の生徒が学ぶ環境を整備することなども考えられる。
- 学校別の活性化協議会にも委員として参加しているが、もっと大胆に地域との連携を進めるべきである。例えばOBを活用し、高校生と地域で20～30代の若者がつながれば、もっとさまざまな取組ができる。
- 伊勢市内では中学校の統合がすすんでおり、高校でも学級数の減少が進むことに危機感を持っている。また、伊勢志摩地域から松阪地域等への中学生の流出傾向があることを心配している。
- 子どもの可能性を最大限のばすことが重要である。そのためには県教育委員会がもっとリーダーシップを発揮して、島根県の先行事例等を参考にするなど、県全体で地域の高校を支援する体制を整えてほしい。

県立高等学校活性化計画における小規模校の取組と地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業について

1 県立高等学校活性化計画における小規模校の取組

平成29年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」に基づき、県立高等学校の活性化を推進しています。特に1学年2～3学級規模の高等学校については、学校ごとに活性化協議会を設置し、市町関係者、地元産業界の地域関係者と具体的方策を協議し、地域の状況、学校・学科の特色などをふまえ、「活性化プラン」を策定して、一体となって活性化の取組を推進し、学校の魅力化に取り組んでいます。

また、今年度からは県内の活性化協議会設置校において、地域課題の解決に向けた探究的な学びを展開する「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」を実施し、小規模校であることのメリットを生かして、将来地域で活躍する姿を思い描くことができる高校生の育成をめざした取組を推進しています。

今年度は3年間の活性化取組期間の最終年度であり、3年間の活動と成果について検証を行い、その後の方向性を検討していきます。

<県立高等学校活性化計画（平成29年3月）より抜粋>

- ・活性化の取組期間は、3年間を原則とし、入学者の状況や生徒の進路実現の状況、活性化の取組など、その活動と成果について毎年度検証を行い、3年経過後に、その後の方向性を検討する。
- ・3年間の取組期間が経過した後、2学級規模を維持している学校は、引き続き活性化に取り組む。

2 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

(1) 事業の趣旨・目的

高校生が地域課題や地域の特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら主体的に課題解決に取り組むことを通じ、実社会の課題に協働して対応する力など、これからの社会で生きる力を育みます。また、生徒自身が地域の一員として、地域への魅力や誇りを高め、地元で活動する将来を思い描けることができるよう、地域を学び場とした地域課題解決型の新しいキャリア教育モデルを構築していきます。

(2) 事業の概要

- 学校別協議会を設置している1学年3学級以下の小規模校を「地域みらい※PBL実践パイロット校」に指定し、地域と学校をつなぐ巡回型のコーディネーターを配置して、地域課題解決型キャリア教育の取組を計画的に実施しています。

※PBL=Project Based Learning（課題解決型学習）

実践パイロット校

南伊勢高校南勢校舎（南伊勢町）、南伊勢高校度会校舎（度会町）、

鳥羽高校（鳥羽市）、志摩高校・水産高校（志摩市）、白山高校（津市）、

飯南高校（松阪市）、昴学園高校（大台町）、あけぼの学園高校（伊賀市）、紀南高校（御浜町）

- 各パイロット校は、年度末に各地域で成果発表会を開催し、地域へ学習の成果を発信・PRをするとともに、成果発表会での地域からの評価等をふまえ、次年度の取組の改善につなげます。

※各校の成果発表会について

水産高校 1/17 開催（志摩文化会館）3年生課題研究等の発表
 鳥羽高校 1/31 開催（鳥羽高校多目的ホール）総合学科各コース、学年の発表
 南伊勢高校南勢校舎、度会校舎 2/22 開催予定（南伊勢町町民文化会館）
 総合的な探究の時間、インターンシップ、交流活動等の発表を予定
 志摩高校 3/12 開催予定（磯部生涯学習センター）
 志摩学、インターンシップ等の成果発表を予定

- 学識経験者、地域産業関係者、地域づくり関係者、県立高校関係者等による「地域課題解決型キャリア教育推進委員会」を設立し、パイロット校での実践をふまえ、学習内容、学習の進め方、そのことにより培われる生徒の資質・能力、学校と地域の関わり方等について検討し、地域課題解決型キャリア教育モデル構築につなげます。
- 事業の期間 令和元年度～3年度までの3年間

（3）取組について

①実践パイロット校の取組

学校の実情に応じて、育てたい生徒の力を明確にし、取り組む対象となる学年・系列や科目を定めて、教育課程に位置づけて実施しています。生徒は、個人またはグループで、地域産業、観光、地域学など、テーマを設定し、

- ・地域のプロフェッショナルからの講義
- ・実際の現場において業務を体験
- ・市場調査・先進地調査の実施／それらに基づいた商品開発
- ・長期休業期間を利用した「三重テラス」での実験販売
- ・県内外の先進地において同様のテーマに取り組む高校生と交流

などの学習や活動を通じて地域の課題解決に取り組んでいます。

伊勢志摩地域の各校の具体的な取組については[参考資料2](#)（P22～）を参照

②学校の枠を越えた高校生の学習活動

- 一連の取組のキックオフ集会として「地域みらいPBL会議」を6月9日（日）に三重県立美術館講堂で開催しました。高校生、教職員、地域関係者等 108 人が参加し、高校生による実践パイロット校の紹介や、東京大学教授の鈴木寛氏による基調講演、高校生・大学生が参加するパネルディスカッションを通じた情報共有や意見交換等を行いました。
- 今年で3回目となる「2019 高校生地域創造サミット」を令和元年12月26日（木）～27日（金）に紀北町の東長島公民館で開催しました。実践パイロット校を含む県内外の高校生73人に加え、大学生サポーターも参加し、紀北町の地域課題を題材として、町内の9カ所でのフィールドワークや、他県、他地域の高校生とのディスカッションを行い、高校生ならではの地域を活かした解決策を考えました。

※過去の開催 第1回（H29/12/27～28）南伊勢町 第2回（H30/12/27～28）鳥羽市

令和元年度の協議について

1 現状と課題

- (1) 伊勢志摩地域の中学校卒業生数は、今後5年間で約330人の減少（現高1対比）が見込まれる。
- (2) 地方創生・地域活性化の視点や通学にかかる負担等の観点から、鳥羽・志摩・度会各地域では、小規模であっても存続を望む声が強い。これらの高校（伊勢志摩地域に4校5校舎）については、「県立高等学校活性化計画（平成29年3月）」に基づき、学校別に活性化協議会を設置して、地域と一体となった活性化に取り組んでいる。また、今年度からは「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」で、地域と連携した学習活動にも取り組んでいる。
- (3) 鳥羽・志摩・度会地域の高校では、慢性的に欠員を生じる状況が続いているが、これ以上の学級減は学校の存続にかかわる。
- (4) 伊勢市内の専門高校については、令和6年度以降の中学校卒業生数の減少を勘案すると、1学年4学級規模が維持できなくなることが想定されるため、学校・学科のあり方についての協議が必要である。
- (5) 地元県立高等学校への志願者増加のためには、早い段階でのPRが有効であるという意見が多い。その効果と課題をふまえながら、小学生やその保護者への周知方法についても検討する必要がある。

2 本年度の協議

- (1) 学校別活性化協議会や「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」での取組状況を、当協議会に報告し、3年目の取組の状況や成果をふまえた令和2年度以降の活性化の方向性や具体的取組、教育の質の保証に係る方策を検討する。
- (2) 県立高校の魅力を地域の中学生や保護者へ広く効果的に発信する方法について検討する。

○第1回協議会

- ・ 県立高等学校の魅力発信について
- ・ その他（来年度の協議会に向けて）

※鳥羽・志摩・度会地域検討ワーキング会議、専門学科検討ワーキング会議は、引き続き休会とし、必要が生じた際に再開することとする。

第3回伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ（報告）

伊勢志摩地域の県立高等学校の特色や魅力等を発信することで、この地域の児童・生徒が将来的に夢と希望を持って進路選択ができることにつなげる機会とするため、第3回の進学フェスタを伊勢市のいせトピアで開催しました。今年の進学フェスタの運営体制は三重県教育委員会と伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会が主催し、伊勢市PTA連合会、鳥羽市PTA連合会、志摩市PTA連合会、度会郡PTA絡協議会を共催とし、また、伊勢市教育委員会、鳥羽市教育委員会、志摩市教育委員会、度会町教育委員会、南伊勢町教育委員会、玉城町教育委員会、大紀町教育委員会に後援をいただきました。

1 日時

令和元年 11 月 17 日（日）13 時 00 分から 16 時 40 分

2 会場

伊勢市生涯学習センターいせトピア（伊勢市黒瀬町 562-12）

3 参加県立学校

宇治山田高等学校、伊勢高等学校、伊勢工業高等学校、宇治山田商業高等学校、伊勢まなび高等学校、明野高等学校、南伊勢高等学校、鳥羽高等学校、志摩高等学校、水産高等学校、特別支援学校玉城わかば学園

4 日程・内容

13:00～13:05 開会行事（日程説明等）

13:05～13:15 伊勢志摩地域の県立高等学校の概要説明

13:15～15:10 各校によるステージ発表

宇治山田商業高校・志摩高校・伊勢まなび高校・水産高校・明野高校

伊勢高校・伊勢工業高校・鳥羽高校・南伊勢高校【南勢校舎・度会校舎】

宇治山田高校 ※宇治山田高校 合唱部の発表

（ふれあい広場） 15:10～16:40

・学校別ブースにて個別進路相談 ※玉城わかば学園はブースのみの参加

5 参加者

220 人

小学5年生～中学3年生の児童・生徒とその保護者、小中学校教員 等

小学校5年生～中学校3年生とその保護者等を対象とした

第3回

伊勢志摩地域県立高校 進学フェスタ

参加者募集!!

令和元年 **11月17日(日)**

13:00 開会 (**12:30** 受付)

場所：伊勢市生涯学習センター **いせトピア**

(伊勢市黒瀬町 562 番地 12)

児童・生徒と保護者の皆さんが、進路について関心をもち、行きたい高校をイメージできるよう、各学校の最新の状況がよくわかる合同説明会を開催します。各学校の教員・生徒が 学校紹介(ステージ発表) と ブースでの個別進路相談 を行い、自校の特色を直接参加者に伝えます。

参加県立学校

宇治山田高校、伊勢高校、
伊勢工業高校、宇治山田商業高校、
伊勢まなび高校、明野高校、
南伊勢高校、鳥羽高校、志摩高校、
水産高校、玉城わかば学園

参加対象

小学校5年生～
中学校3年生の児童・
生徒とその保護者、
教育関係者等

スケジュール

13:00 開会
13:15 各校によるステージ発表
15:10 学校別ブースでの個別進路相談等
16:40 終了予定

行きたい学校を
見つけよう!



参加方法

参加自由・申し込み不要

(駐車場には限りがありますので、時間に余裕をもってお越しください。)

主催

三重県教育委員会、伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

共催 伊勢市PTA連合会 鳥羽市PTA連合会 後援 伊勢市教育委員会 鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会

志摩市PTA連合会 度会郡PTA連絡協議会 南伊勢町教育委員会 度会町教育委員会 玉城町教育委員会 大紀町教育委員会

お問い合わせ 三重県教育委員会事務局 教育政策課 担当：星野 TEL: 059-224-2951

(当日 090-8953-4855)



各校の発表



各校の発表



各校の発表



各校の発表



ブースでの個別相談



ブースでの個別相談

伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ 来場者数及びアンケート結果

来場者（受付）220人 アンケート回収132部

問1:住所		問2:立場		問3:参加の目的(1つ選択)	
伊勢市	78	保護者	73	ステージ発表	109
志摩市	12	中学3年生	3	ブースでの個別相談	16
鳥羽市	16	中学2年生	17	その他	7
玉城町	6	中学1年生	13	近年の学校の特色を知るため 兄や親についたきた どんな高校があるか子供に知ってもらうため 全体的に観るため など	
度会町	11	小学生	23		
南伊勢町	4	その他	3		
大紀町	0	(学習塾1、未記入1、 教育関係者から依頼)			
その他	5				
(津市4、未記入1)					

問4:ステージ発表の感想(複数選択)		問5:ブースでの進路相談の感想(複数選択)		問6:進学フェスタの内容への意見(複数選択)	
参考になった	88	参考になった	47	ステージ発表とブース	106
特色・魅力がわかった	97	特色・魅力がわかった	31	ステージ発表だけ	9
すでに知っている内容	2	すでに知っている内容	0	各校ブースだけ	0
参考にならなかった	7	参考にならなかった	0	講演会なども	10
観ていない	0	行っていない	53	その他	3
その他	2	その他	1		

受付者集計

伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ(R1. 11. 17) 受付者集計

	伊勢市	志摩市	鳥羽市	玉城町	度会町	南伊勢町	大紀町	他地域	計	割合
保護者	65	12	16	5	7	4	0	2	111	50.5%
中3	6	2	0	0	1	0	0	1	10	4.5%
中2	12	2	2	1	4	2	0	0	23	10.5%
中1	12	0	3	0	0	0	0	0	15	6.8%
小学生	19	8	6	1	3	1	0	0	38	17.3%
その他	11	1	2	0	7	0	1	1	23	10.5%
計	125	25	29	7	22	7	1	4	220	
割合	56.8%	11.4%	13.2%	3.2%	10.0%	3.2%	0.5%	1.8%		

※「他地域」:伊勢志摩地域以外の市町からの参加

※「その他」:保護者、中学生、小学生以外

【進学フェスタ全体を通した主な意見・感想】

- ・色々な高校に興味をもてました。よくわかり、行きたい学校が見つけれられた。 (10)
- ・発表してくれた各学校の生徒達をみて学校の雰囲気もわかり、とても参考になりました。
- ・どの高校の説明も分かりやすかったです。
- ・各学校の教科の説明がもっと詳しいと良かった。
- ・各校がそれぞれ、工夫を凝らしたプレゼンを行っており、魅力あふれる内容で良いと思いました。
- ・親として、子どもが将来通うであろう各県立高校でのイメージが少しできるかなと思いました。参加して良かったです。
- ・各学校それぞれの特徴や、魅力があり、全部の学校に行ってみたいと思いました。
- ・各校生徒による紹介について、それぞれの特色が出ていてとても良かったです。生徒たちの姿が、何より魅力的でした。
- ・今回、中1の子どもと一緒に来ました。色々な学校紹介を見て、自分が行きたい学校、興味をもてたみたいで良かったです。
- ・高校卒業後の就職先、割合、進学先等がない学校があったので、すべての高校で説明に入れて頂くとありがたいです。又、内申点(や偏差値)がどのくらいの高校なのか?も子どもが選ぶ際の参考になるので、分かれるとよい気がしました。
- ・山校の合唱部の発表がとても良かった。子ども達が高校生活を楽しみに行ける内容になっており非常に為になりました。ありがとうございました。
- ・中学生全員に見てもらえると良いと思います。各校生徒に見てもらいたいです。合唱素晴らしかったです。
- ・各校の特色が伝わり、このような機会はとても参考になると思います。
- ・楽しそうだった。
- ・まなび高校の発表がとても良かったです。どの子にも、学べる機会・学校があるのは良いことだと思います。
- ・進学フェスタに初めて参加しましたが、とても分かりやすく楽しくもありました。子ども達が持ち帰るチラシが固いイメージだったので想像していたものとは違いました。来て良かったです。
- ・中学校の教員という立場で初めて参加しましたが、このように小学生～中学生が早いうちから高校について知れる機会があるのは、とても良いと思いました。私自身も勉強になり良かったです。
- ・会場が明るすぎて、スクリーンが見づらかった。
- ・各校の特色があり、分かりやすかった。会場が寒かったです。
- ・各ブースの相談を中3が、クラブが終わって高校を改めて子どもが考えるときに相談できる機会があるといい。
- ・とても参考になりました。各学校の先生方や生徒の方と実際にお話したり質問させてもらえて良かったです。ありがとうございました。21年ぶりに母校の校歌を聞くことができ嬉しかったです。
- ・意見の内容や部活内容などがよく分かった。
- ・候補ではない学校も少し気になって受けてみたいなど思った。
- ・学生たちの話が聞けて、進学を考えるのに大変参考になりました。
- ・来てよかった。子どもも高校というものが身近になったと思う。
- ・まず、県の方の司会の声がビンビン響いて耳にささって誠に司会の役の人選が悪い。生徒より本当に聞きづらいどころか耳が痛い感じでした。厳しい意見ですが、進行上司会進行役は極めて重要です。つきささるような声はやはりダメです。生徒が全員聞きやすい中で本当に残念です。 追記・・・山校の合唱は特別扱いの感ありです。進学フェスタは全ての高校の平等が基本です。時間が余った高校へもインタビューをしていたが、それも不平等に感じた。
- ・各校の個性があり、それぞれの学校のこのフェスタの捉え方、スタンスが(学校側)重要度が出ていた。
- ・生徒の紹介もとても為になるが、各高校の教師の立場からのお話も聞きたかったです。

「進学フェスタ」の検証と今後の県立高校の魅力発信について

県教育委員会と当協議会が主催し、過去3回開催してきた「進学フェスタ」の成果と課題を検証し、来年度以降の地域の県立高校の魅力発信について協議します。

1. 「進学フェスタ」開催の経緯

伊勢志摩地域の県立高校の魅力を広く発信する方法の一つとして、高校の合同説明会を開催することについては、県内他地域での取組を参考にしながら平成27年度ごろから当協議会で議論されてきました。この合同説明会は地域全体の県立高校のPRの場として、特に伊勢市内で説明会等の機会が少ない鳥羽志摩度会地域の小規模校が、地域の小中学生や保護者等に多様な進路選択の機会を提供するものとして実施するようになりました。

＜平成28年度協議会の概要より＞

- この地域の県立高校が一同に会して小中学生とその保護者対象に、自校の魅力や特色を伝える説明会を実施することは大いに賛成である。実施にあたっては、プレゼンをより工夫することで、自分の学校の良さを見直すきっかけにもなる。
- 本来、合同説明会はPTA主体で行うことが望ましいが、この地区が広域にわたるため協力体制を作ることが難しいのが現状である。実施にあたっては、できるだけ負担が少ないよう運営の工夫をお願いしたい。
- 十分なPRの機会がない高等学校にとっては、合同説明会のような場は貴重であるので、生徒や教員の負担に配慮しつつ、充実した内容にしていきたい。

⇒ 平成29年6月、試験的に県教育委員会が主体となって「進学フェスタ」を開催へ

（参考）県内他地域での高校合同説明会

- ・ 桑名地区 10月開催、桑名市PTA主催、各校ブース、高専も参加
- ・ 四日市地区 11月開催、実行委員会（市教委と四日市・三重郡PTAが共催）主催、講演会や各校ブース等、私学等も参加
- ・ 松阪地区 11月開催、松阪市PTA主催、各校ブース、私学等も参加
- ・ 伊賀地区 11月開催、伊賀市PTA主催、各校ブース

2. 「進学フェスタ」過去3回の開催日時、内容、来場者等

第1回伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ

平成29年6月10日（土） 13:00 開会 会場：ハートプラザみその
 内容：講演会（安河内哲也氏）、ステージ発表、ブースでの進路相談等
 来場者（受付）365人 アンケート回収 226部

第2回伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ

平成30年6月9日（土） 12:30 開会 会場：ハートプラザみその
 内容：講演会（浦上大輔氏）、ステージ発表、ブースでの進路相談、学習成果の発表等
 来場者（受付）234人 アンケート回収 162部

第3回伊勢志摩地域県立高等学校進学フェスタ

令和元年11月17日(日) 13:00 開会 会場：いせトピア

内容：ステージ発表、ブースでの進路相談等

来場者(受付) 220人 アンケート回収 132部

3. 「進学フェスタ」の成果と課題

(参加者・参加校のアンケート、その他意見等から)

- 参加者のアンケートからは、「学校選びの参考になった」「生徒のステージ発表により生徒や学校の様子がよくわかった」など高い評価を得ている。
- 地域全体の高校が集まるイベントは、県立高校の魅力を伝える重要な場となっている。
- 参加した生徒にとって、大勢の前で発表することで、自分の高校の良さを再認識するよい経験となった。
- △参加者数が伸びておらず、参加者を集める日程や場所に工夫が必要である(私学等の参加も考えていいのではないか)。
- △生徒によるステージ発表は、小中学生や保護者に各高校の様子を伝える面では効果的ではあるが、日程や会場の面で大きな制約となるため、このような内容での継続的開催は難しい。
- 生徒発表等に係る高校の労力と実際の参加者数から考えると、費用対効果の面から内容や開催自体も考え直す必要がある。また、教員の働き方改革の面からも負担が大きくなっている。
- 「進学フェスタ」の効果がはっきりと見えてこない。(たとえば地域外への流出を防ぐ効果等がはっきりしない。)
- 3年間の開催を経ても、継続的な運営方法、運営の体制が整えられていない。

4. 今後の県立高校の魅力発信について

- 合同説明会の開催について

- 高校の魅力発信のアイデア、方法について

- 日程、内容等について

- 協力体制について

伊勢志摩地域県立高等学校進学希望状況(令和元年12月13日)及び
令和2年度入学者選抜の状況(令和2年2月14日現在)

資料7改

学校名	学科・コース	入学定員	12月13日時点の進学希望者数				前期選抜等			後期選抜	
			本年度	昨年度	昨年との差	定員との差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	日程
明野	生産科学	40	55	39	16	15	20	55	22	18	
	食品科学	40	37	41	▲4	▲3	20	39	22	18	
	生活教養	40	29	55	▲26	▲11	20	28	22	18	
	福祉	40	47	38	9	7	20	45	22	18	
	計	160	168	173	▲5	8	80	167	88	72	
宇治山田	普通	240	228	257	▲29	▲12	72	213	80	160	
伊勢	普通	240	222	254	▲32	▲18	-	-	-	240	
	国際科学コース	40	71	75	▲4	31	-	-	-	40	
	計	280	293	329	▲36	13	0	0	0	280	
宇治山田商業	商業	120	134	123	11	14	60	131	66	54	
	情報処理	40	33	32	1	▲7	20	34	22	18	
	国際	40	49	55	▲6	9	20	48	22	18	
	計	200	216	210	6	16	100	213	110	90	
伊勢工業	機械	80	83	95	▲12	3	40	77	44	36	
	電気	40	33	64	▲31	▲7	20	38	22	18	
	建築	40	42	46	▲4	2	20	39	22	18	
	計	160	158	205	▲47	▲2	80	154	88	72	
南伊勢	度会校舎 普通	80	33	47	▲14	▲34	40	39	44	36	
	南勢校舎 普通		13	4	9						
							連携型中高一貫に係る選 定めていない		6		
鳥羽	総合学科	80	46	43	3	▲34	40	48	44	36	
志摩	普通	80	71	62	9	▲9	40	64	44	36	
	国際コース	0	/	13	/	/	/	/	/	/	
	計	80	71	75	▲4	▲9	40	64	44	36	
水産	海洋・機関	40	37	48	▲11	▲3	20	37	22	18	
	水産資源	40	21	27	▲6	▲19	20	22	21	19	
	計	80	58	75	▲17	▲22	40	59	43	37	
地域内県立高校 計		1360	1284	1418	▲134	▲76	492	963			

志願変更
3月3日
~5日

後期選抜
実施日
3月10日

※「12月13日時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された調査結果(R2. 1. 18)による。

伊勢志摩地域小規模校の志願・入学者選抜状況等の推移

資料 8

○鳥羽高校 志願者/募集定員

年度	入学定員	12月調査	入学者選抜			入学者数	欠員	鳥羽市内 中学校出身者		鳥羽市 中学校 卒業生数
			前期選抜	後期選抜	再募集					
H28	80	42	40/40	18/42	21/25	73	7	12	8.3%	145
H29	80	59	55/40	25/38	12/15	77	3	23	12.8%	180
H30	80	57	59/40	17/36	6/20	66	14	25	13.8%	181
H31	80	43	40/40	13/42	13/29	64	16	9	6.4%	140
R2	80	46	48/40							

○志摩高校 志願者/募集定員

年度	入学定員	12月調査	入学者選抜			入学者数	欠員	志摩市内 中学校出身者		志摩市 中学校 卒業生数
			前期選抜	後期選抜	再募集					
H28	120	86	72/44	49/71	10/26	104	16	98	21.2%	462
H29	120	101	91/44	57/71	4/15	109	11	99	22.0%	449
H30	120	105	92/44	64/71	3/12	111	9	98	22.7%	432
H31	120	75	68/60	32/63	18/31	107	13	90	22.5%	400
R2	80	71	64/40							

○水産高校 志願者/募集定員

年度	入学定員	12月調査	入学者選抜			入学者数	欠員	志摩市内 中学校出身者		志摩市 中学校 卒業生数
			前期選抜	後期選抜	再募集					
H28	80	66	69/40	28/36	5/12	71	9	52	11.3%	462
H29	80	76	74/40	41/37	—	80	0	67	14.9%	449
H30	80	75	77/40	37/36	1/1	80	0	54	12.5%	432
H31	80	75	75/40	33/36	2/10	70	10	48	12.0%	400
R2	80	58	59/40							

○南伊勢高校度会校舎 志願者/募集定員

年度	入学定員	12月調査	入学者選抜			入学者数	欠員	度会中学校 出身者		度会 中学校 卒業生数
			前期選抜	後期選抜	再募集					
H28	80	40	41/24	25/53	13/32	60	20	5	5.6%	89
H29	80	41	41/24	35/53	9/23	67	13	19	24.7%	77
H30	80	41	40/24	15/53	2/39	43	37	6	7.6%	79
H31	80	47	49/40	14/37	13/23	70	10	21	24.4%	86
R2	*80	33	*39/40							

○南伊勢高校南勢校舎 志願者/募集定員 * 中高一貫特別選抜は定員を定めていない。

年度	入学定員	12月調査	入学者選抜			入学者数	欠員	南伊勢町内 中学校出身者		南伊勢町 中学校 卒業生数
			前期・中高 志願者数	後期選抜	再募集					
H28	40	19	14	3/26	2/24	18	22	15	15.2%	99
H29	40	5	5	0/35	1/35	5	35	5	5.6%	89
H30	40	20	20	3/22	0/19	21	19	20	25.3%	79
H31	40	4	5	0/35	0/35	5	35	4	6.3%	64
R2	*80	13	*39/40、6							

※令和2年度入学者選抜から南伊勢高校は両校舎で定員を2学級80人とし、一括募集を行う。

資料9

伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増）

令和元年5月1日 教育政策課調べ

	H 15.3	H 28.3	H 29.3	H 30.3	H 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3
伊勢市	卒業生数	1,231	1,215	1,196	1,170	1,084	1,063	1,074	1,135	990	1,042	1,005	1,044	990
	前年度対比		-16	-19	-26	-86	-21	11	61	-145	52	-37	39	-54
	H31.3対比					-86	-107	-96	-35	-180	-128	-165	-126	-180
度会郡	卒業生数	439	419	383	369	359	309	319	344	315	323	291	305	270
	前年度対比		-20	-36	-14	-10	-50	10	25	-29	8	-32	14	-35
	H31.3対比					-10	-60	-50	-25	-54	-46	-78	-64	-99
鳥羽市	卒業生数	145	180	181	140	132	147	144	128	110	123	115	112	102
	前年度対比		35	1	-41	-8	15	-3	-16	-18	13	-8	-3	-10
	H31.3対比					-8	7	4	-12	-30	-17	-25	-28	-38
志摩市	卒業生数	462	449	432	400	389	314	339	341	332	298	322	299	247
	前年度対比		-13	-17	-32	-11	-75	25	2	-9	-34	24	-23	-52
	H31.3対比					-11	-86	-61	-59	-68	-102	-78	-101	-153
小計	卒業生数	2,277	2,263	2,192	2,079	1,964	1,833	1,876	1,948	1,747	1,786	1,733	1,760	1,609
	前年度対比		-14	-71	-113	-115	-131	43	72	-201	39	-53	27	-151
	H31.3対比					-115	-246	-203	-131	-332	-293	-346	-319	-470
県内合計	卒業生数	17,848	17,513	17,458	16,811	16,489	15,776	16,179	16,003	15,896	15,573	15,405	15,259	14,688
	前年度対比		-335	-55	-647	-322	-713	403	-176	-107	-323	-168	-146	-571
	H31.3対比					-322	-1,035	-632	-808	-915	-1,238	-1,406	-1,552	-2,123

伊勢市内高校 (県立全日)	学級数(募集)	29	29	28	26	26								
	欠員	0	15	12	2	—								
	学級数(募集)	10	10	10	10	8								
伊勢以外高校 (県立全日)	学級数(募集)	74	62	79	84	—								
	欠員	39	39	38	36	34								
	学級数(募集)	74	77	91	86	—								
県内(県立全日)	学級数(募集)	315	308	306	293	285								
	欠員	165	129	279	192	—								

(私立、高専入学者の状況)

皇學館	募集	340	340	340	320	320								
	入学者数	384	349	400	336									
伊勢学園	募集	230	230	230	220	220								
	入学者数	244	248	221	243									
鳥羽商船	募集	120	120	120	120	120								
	入学者数	134	128	118	122									
3校の欠員数(合計)		-72	-35	-49	-41									

※欠員の(-)は、定員を超過した入学者数を示す。

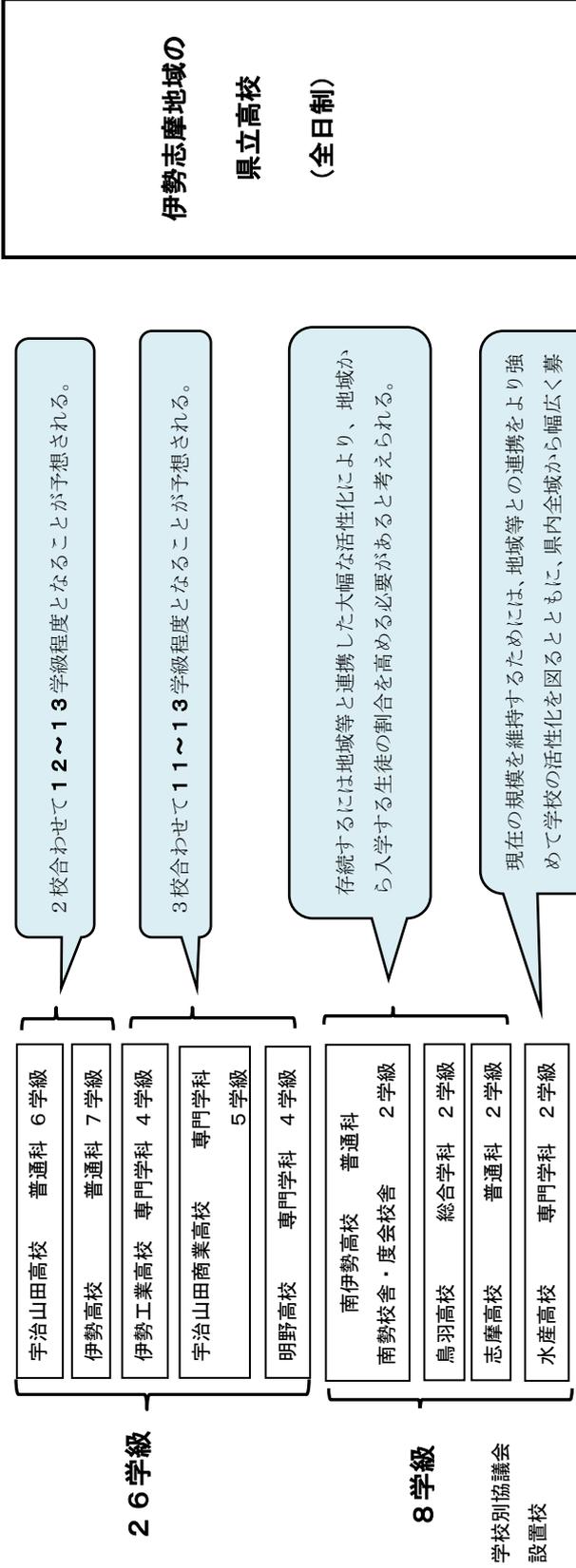
令和6年度を見すえた伊勢志摩地域の県立高校（全日制）の配置について

資料 10

令和2年度より
▲217人
4～6学級減

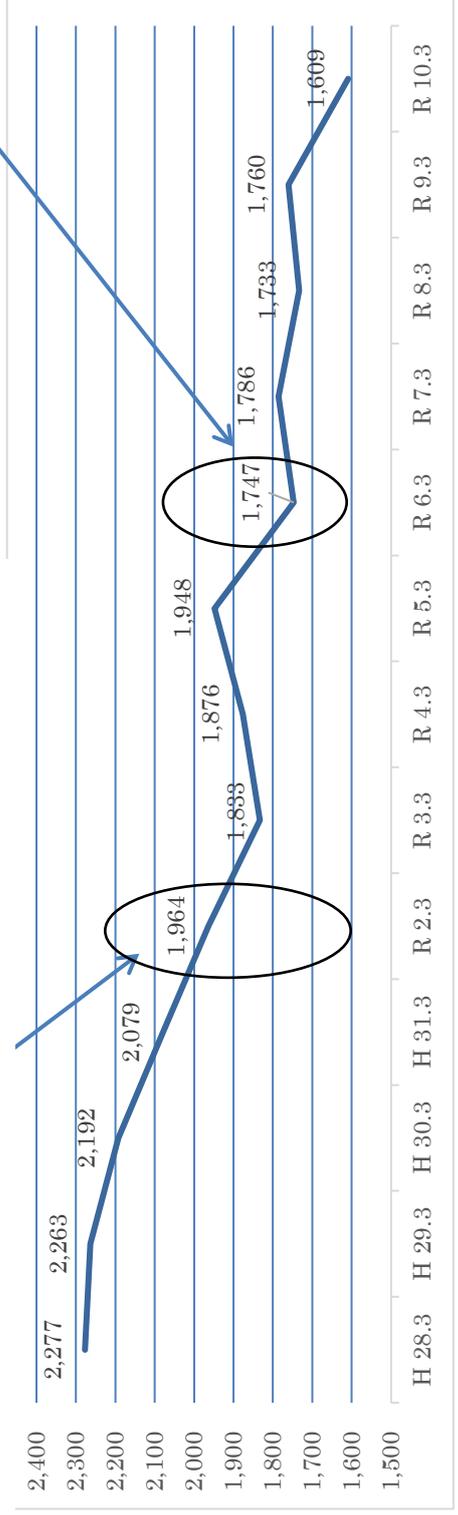
令和6年度 **28～30学級**
伊勢志摩地域の中学校卒業予定者数
1,747人（現小5）

令和2年度 **34学級**
伊勢志摩地域の中学校卒業予定者数
1,964人（現中3）



学科の割合（令和2年度）			
普通科	50.0%	専門学科	44.1%
		総合学科	5.9%

伊勢志摩地域の中学校卒業者数（令和元年5月1日調べ、令和元年3月卒以降は予測値）



※伊勢志摩地域における県立高校と私立高校の募集定員の比率、中学校卒業者が市町を越えて高校進学する比率が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。

※地域における募集定員の普通科・専門学科・総合学科の比率、伊勢市内の高校と鳥羽・志摩・度会地域の高校の比率が、現在と大きく変わらぬ場合の予測に基づく。

※中学校卒業予定者数は、令和元年5月1日時点の教育政策課による予測数値に修正。

市町別の中学校卒業生進学先の推移

参考資料 1

伊勢市の状況

%は、各市町における中学校卒業生に対する進学者の割合を表す

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		伊勢市以外	管外	その他			
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会	南勢						
30年度	1170	1108	112	172	89	82	81	163	124	24.5%	823	70.3%	27	33	5	5	28	0	98	8.4%	187	62
29年度	1196	1117	116	194	95	88	92	185	109	24.6%	879	73.5%	21	23	2	4	23	0	73	6.1%	165	79
28年度	1215	1156	110	200	120	94	79	152	129	23.1%	884	72.8%	35	35	1	0	28	0	99	8.1%	173	59
27年度	1231	1173	119	192	115	108	98	170	115	23.2%	917	74.5%	32	23	1	5	36	0	97	7.9%	159	58
26年度	1254	1183	114	191	108	100	93	203	132	26.7%	941	75.0%	33	26	0	3	28	1	91	7.3%	151	71

鳥羽市の状況

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		管外	その他			
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会	南勢					
30年度	140	135	21	14	11	10	14	19	7	18.6%	96	68.6%	9	6.4%	10	10	6	0	0	4	5
29年度	181	170	13	12	8	23	20	21	7	15.5%	104	57.5%	25	13.8%	8	6	7	0	0	20	11
28年度	180	173	16	18	11	16	27	19	8	15.0%	115	63.9%	23	12.8%	9	7	4	0	0	15	7
27年度	145	135	18	11	10	8	16	21	12	22.8%	96	66.2%	12	8.3%	10	0	2	0	0	15	10
26年度	187	177	20	13	20	14	22	26	10	19.3%	125	66.8%	19	10.2%	6	7	4	0	0	16	10

志摩市の状況

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		管外	その他				
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会	南勢						
30年度	400	384	41	39	23	37	11	36	10	11.5%	197	49.3%	4	13	90	22.5%	48	12.0%	0	0	32	16
29年度	432	418	40	49	16	34	20	45	8	12.3%	212	49.1%	0	21	98	22.7%	54	12.5%	0	1	32	14
28年度	449	434	49	43	16	39	17	49	8	12.7%	221	49.2%	4	14	99	22.0%	67	14.9%	0	0	29	15
27年度	462	447	41	50	24	34	24	60	11	15.4%	244	52.8%	0	15	98	21.2%	52	11.3%	0	3	35	15
26年度	459	446	45	55	34	39	24	57	11	14.8%	265	57.7%	1	14	88	19.2%	58	12.6%	0	1	19	13

玉城町の状況

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		伊勢市以外	管外	その他			
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会	南勢						
30年度	158	150	14	12	11	9	14	11	16	17.1%	87	55.1%	3	2	0	0	18	0	23	14.6%	40	8
29年度	163	156	22	23	7	9	9	13	13	16.0%	96	58.9%	0	5	0	0	10	0	15	9.2%	45	7
28年度	177	172	14	15	20	5	10	14	20	19.2%	98	55.4%	0	4	0	0	16	0	20	11.3%	54	5
27年度	177	167	14	23	4	9	14	10	21	17.5%	95	53.7%	6	4	0	1	15	0	26	14.7%	46	10
26年度	153	144	5	15	13	8	6	7	17	15.7%	71	46.4%	3	2	0	0	13	0	18	11.8%	55	9

度会町の状況

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		管外	その他			
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会校舎	南勢					
30年度	86	85	6	8	8	9	6	5	5	11.6%	47	54.7%	0	2	0	0	21	24.4%	0	15	1
29年度	79	76	8	7	9	6	6	11	1	15.2%	48	60.8%	0	5	0	0	6	7.6%	0	17	3
28年度	77	76	1	7	7	8	7	5	3	10.4%	38	49.4%	0	0	0	0	19	24.7%	0	19	1
27年度	89	85	5	6	9	7	5	8	7	16.9%	47	52.8%	0	4	0	0	5	5.6%	0	29	4
26年度	100	89	6	9	11	8	9	5	2	7.0%	50	50.0%	0	3	0	0	16	16.0%	0	20	11

南伊勢町の状況

年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	県立					私立		伊勢市内高校	鳥羽	商船	志摩	水産	南伊勢		管外	その他			
			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学						度会	南勢校舎					
30年度	64	62	5	7	5	9	3	8	4	18.8%	41	64.1%	0	1	2	2	2	4	6.3%	10	2
29年度	79	75	7	10	5	7	1	5	3	10.1%	38	48.1%	0	1	5	2	2	20	25.3%	7	4
28年度	89	88	11	15	9	6	6	15	4	21.3%	66	74.2%	0	0	0	1	2	5	5.6%	14	1
27年度	99	98	7	17	12	6	6	9	4	13.1%	61	61.6%	0	2	3	1	2	15	15.2%	14	1
26年度	110	106	12	15	6	6	6	7	4	10.0%	56	50.9%	0	1	3	0	6	22	20.0%	18	4

* 管外とは伊勢志摩地域の全日制の県立（10校）と私立（2校）と高専（1校）以外の高校・高専への進学者数
その他とは特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業
各実践パイロット校の取組

各実践パイロット校の取組状況等 (1月末現在)

学校名	鳥羽高校
対象カリキュラム	①1年生 総合学科 64人 産業社会と人間 金5～6限 ②2年生 総合学科 23人 鳥羽学 木5～6限 ⇒ 石鏡班(海女文化等)となかまち班(中心市街地活性化)に分かれる
育てたい生徒の力 以下の①～は対象カリキュラムに対応	①それぞれの進路実現に向けての基礎的・総合的な学力及び社会的・職業的自立に必要な自律能力と態度。 ・地域や地域の職業人との関わりにより、地域理解力、課題発見能力や課題解決能力。 ・フィールドワークや成果発表によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力。 ②地域の歴史、文化、文学、環境、観光、外国との関係などの基本的な知識。 ・地域について多角的な視点での調査や分析を試みることによる課題発見能力や課題解決能力。 ・調査や各グループでの成果発表によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力。
これまでの主な取組	①4/12 地域学習として答志島へのフィールドワークを実施 9～10月 国語の授業で「潮騒」を取り上げる 9/27 職業人インタビュー 11/22 神島へのフィールドワーク(悪天候のため船欠航、中止) 11/29 隠岐島前高校の教員とコーディネーターによる「地域の課題を発見するワークショップ」を実施 ※同日に職員研修も実施 ②・毎週の授業時間に鳥羽市の職員の支援を受けている。 ・なかまち班では、地域住民のまちづくりと情報共有を行い、高校生の目線での情報発信等を考える。 ・石鏡班では、石鏡のマップづくりや、地域の海女文化を学び、企業と連携してVR機器を活用した海女文化の情報発信等に取り組んでいる。 7/11、9/12、19、26 なかまち班のフィールドワーク 7/11 石鏡班が連携企業からVR作成指導受講 9/12、19、26 石鏡班のフィールドワーク 10/24 石鏡班が連携企業からVR作成指導受講 10月～1月(なかまち班)看板、動画制作に取り組む (石鏡班)VR、まち歩きマップの作成に取り組む 1/17 東京三重テラス、石鏡町の海の博物館での報道発表 ①② 1/31 成果発表会の開催
これからの主な予定	

各実践パイロット校の取組状況等 (1月末現在)

学校名	志摩高校
対象カリキュラム	① 1年生 104人 総合的な探究の時間 金6限目 ② 2年生 103人 総合的な学習の時間 木6限目
育てたい生徒の力 以下の①～は対象カリキュラムに対応	①② ・地域を愛し、地域社会に貢献できる力。 ・自ら課題を設定し、調査研究を行い、考察を深める力。 ・他者と協力、協働し課題解決のために主体的に行動する力。 ・自分の考えを効果的にプレゼンテーションする力。
これまでの主な取組	①学校が地域の課題と考えられるテーマを示し、個人の興味・関心にもとづき、グループをつくり話し合っ課題を設定して学習活動をすすめる。(まちづくり、観光、地域産業、地域医療福祉、祭り、食、等) 6/21 事前学習「志摩のいいところ」グループワークを実施 6/28 講演「志摩市の現状と課題について」 (志摩市総合政策課 米奥主事、中村主事より) 医療・観光・文化など7つのテーマ設定、グループごとでの探究活動を進めていく。 11/1 フィールドワーク実施(20のグループに分かれ、志摩市内の各事業所へ) 11/7 中間発表 11/15 コーディネーターのサポートで発表指導等 12/17 プレゼンテーション指導 講師：(株)オフィスワンツータン 向原千草さん 12月 プレゼンテーション資料作成 1.2月 学年発表 ②個人の興味・関心にもとづき、インターンシップの行き先を考慮して、産業別の研究グループをつくり、地域や地域の産業の研究をすすめる。 5/30 講演「志摩市の産業について」(志摩市総合政策課 東課長より) 6/19 インターンに向けたマナー指導 (特定非営利活動法人 a trio 理事長 山口友美氏より) 7/22～/25 インターンシップ ※インターンシップ不参加生徒への指導 9/12 インターンシップクラス発表 9/19 コーディネーターによるポスターセッションの作成・発表指導 12月 ポスターセッション資料作成 1.2月 学年発表
これからの予定	①② 3月 個人研究レポート作成 3/12 1.2年生合同成果発表会(磯部生涯学習センター)

各実践パイロット校の取組状況等 (1月末現在)

学校名	水産高校
対象カリキュラム	① 3年生 水産資源科アクアフードコース 総合実習、食品管理 18人 2年生 水産資源科アクアフードコース 食品管理 21人 1年生 水産資源科 30人 ② 3年生 海洋・機関科 課題研究 6人 2年生 海洋・機関科 船用機関 19人
育てたい生徒の力 <small>以下の①～は対象カリキュラムに対応</small>	① ②共通 水産・海洋に関するスペシャリストとしての知識や技術の習得を通し、「考え抜く力」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を高める。 海洋環境の管理、海洋資源の活用を中心に探究し、持続可能な地域づくりに貢献できる生徒
これまでの主な取組	①・地元企業と協働した水産加工食品の開発をめざした授業を展開 (伊勢マグロの廃棄部位の有効活用を研究) ②7/31～8/2 全国マリンロボットコンテストに参加。(水中ドローン) 準優勝(実技優勝、プレゼンテーション4位) 講演団体(株)島津製作所特別賞受賞 【①②に関連する取組】 9/10 地元海女さんとの意見交換会 昨年度卒業生が作製したノミ(海女さんが漁で使う道具)の問題点を協議し、改良を進めている。現状、ステンレス及び鋼の磯ノミを製作中 11/19 アワビの放流活動 海洋コースの生徒が地元の漁業組合と共同しアワビ放流活動を行った。 機関コースが帯同し、製作した水中ドローンを活用し放流の様子を撮影した。放流技術の向上に向けデータ収集を行った。 1/16 志摩中学1年生(60名)を招いて各学科・コースの概要説明、体験授業(漁業・ロープ実習、船舶エンジン解説、真珠の理解、魚類学習、缶詰製造) 1/17 志摩市文化会館において成果発表会(全校生徒及び地元関係者) (アワビの稚貝放流、ハマチの養殖、磯ノミ制作と海女漁支援、真珠養殖、水中ドローンの開発と活用、食品加工と販路開拓)
これからの主な予定	①2月中旬:南伊勢町にて営業するブルーフィン(株)を訪問し、マグロの増殖について現状と課題を確認する。映像取材を行う。(教員) ②2月下旬:ブルーフィン(株)の事業担当者によるマグロ養殖の現状について講演。次年度の研究に活用する。(水産資源科1年生) ③2/17～2/18 水中ロボットを活用した水産業の活性化について研究を深める ・研究授業において水中ロボットの制作過程を共有する。また活動の評価方法について研究する。 ・東京海洋大学 後藤慎平准教授による深海及び水中ドローンの指導等 ・機関コースの研究を核として海洋コース、増殖コースにおける活用を探る ④3/27～3/29 三重テラスにおいて水産高校が地元企業と共同開発した水産加工品の販売及びPR活動(カツオの解体ショー)を行うとともに、カツオに関する商品を全国展開している事業者への直接取材を行う。また、志摩市SDGS課や観光資源課、志摩市商工会とともに志摩市の産品を発信する。

※その他

・ベンチマーキング 令和元年11月8日(金)京都府立海洋高校(京都府宮津市)

- ① 海洋資源科の増養殖施設や出店施設(地域に開放している水産食品のレストランを運営)を視察し、地元の魚を活用した増養殖の定着と実習船が水揚げした鮮魚の加工販売の方法について研究を深めた。
- ② 学習指導や進路指導(特に4年制大学への進学)体制の確立について情報収集を行った。
- ③ 実習船(中型船)の活用状況とその効果について情報収集を行った。

各実践パイロット校の取組状況等 (1月末現在)

学校名	南伊勢高校度会校舎
対象カリキュラム	① 1年生 70人 総合的な探究の時間 月6限目 ② 2年生 40人 総合的な学習の時間 金6限目
育てたい生徒の力 以下の①～は対象カリキュラムに対応	①② ・いろいろな体験学習を通じ、地域を見つめ、地域を知る。 ・高校生の意義を考え、自分の生き方・考え方を見つめる。 ・班別活動を通して、協調性・企画・表現力を身につける。 ・自己への洞察を深め、幅広い教養を身につける。
これまでの主な取組	① ・9/6 度会町役場の職員より、度会町の特徴や役場の役割と住民の義務等についての講演をうける ・11/18 地域の職業人の講演会を実施 ② ・地域との交流活動の実施 (①保育所や特別支援学校②ケアハウス③社会福祉協議会④森林組合) ・9/6 度会町役場の職員より、度会町の特徴や役場の役割と住民の義務等についての講演をうける (1年生と合同)
これからの主な予定	① ・2/17 地域の職業人の講演会を実施 ② ・2/14 校内での体験発表会 ・2/22 南勢校舎と合同で成果発表会を実施予定

※その他

- ・第4回SBP交流フェアに参加 (8/23・24: 於皇学館大学)
- ・南勢校舎との間の遠隔授業についての準備、研究、実践をすすめ、環境整備を進める (9/27、10/29、11/21、1/28 実施)。
- ・学校HPの改修をコーディネーターがサポート

各実践パイロット校の取組状況等 (1月末現在)

学校名	南伊勢高校南勢校舎
対象カリキュラム	① 1年生 5人 総合的な探究の時間(輝ひ) 金6限目 ② 2年生 地域創生アドバンスコース 9人 地域探求 木6限目 ③ 2年生 2人 インターンシップ 金1～6限 ④ 3年生 地域創生アドバンスコース 3人 地域課題研究 月5～6限 ※⑤SBP活動(1～3年、6人)
育てたい生徒の力 以下の①～は対象カリキュラムに対応	①地域に学び、地域に根ざしつつ、広い視野で自己の在り方生き方を考える。「確かな学力」を身につけ、何事にも意欲的に取り組む。社会性を身につけ、周囲から信頼される生徒。自然を愛し、「健全で豊かな心」をもち、お互いを尊重しあう。 ◎ワークショップを通じて、自分の意見を述べる力を育てる。 ②郷土の産業や文化を知り、地域の方と関わることにより豊かな人間性を育む。 ③地域産業の現状を踏まえ、地域の中で就業体験を行い、社会に関わる意識を高めると共に、働く上での課題を自己の問題と捉え、解決しようとする力を育てる。これらを通して、自己理解・自己の成長と社会性を養う。 ④地域が直面する様々な困難に対し、地域と協働し地域創生を進めるリーダーを育成する。
これまでの主な取組	①5/10 講演「夢は無敵大」皇学館大学 岸川教授 6/21 動画ワークショップ(コーディネーター山岡氏ら) 9/20 ワークショップ「紹介ゲーム・ジェスチャー」吉田拓未氏 10/4 ワークショップ「自己紹介ゲーム、インタビューの仕方」岸川教授他 11/22 パワーポイントの指導(コーディネーター中村氏他) ・3学期からは南伊勢町・三重大学・NPOと連携し「防災特別講義」を実施 1/24 講義「自然災害のリスク」南伊勢町 防災課、NPO ②4/18 講演・オリエンテーション、三重大学 西村副学長 4/25 講演 南伊勢町 小山町長 5/9 講演 地域産業を知る(漁業) 橋本純氏 9/26 中間発表(1年生への発表) ③就業体験(前期5～9月に7回)と事後指導 南伊勢町役場、保育園等 7/5 一年生に講話 就業体験(後期10～2月に8回)と事前指導 ④4/15 フィールドワーク1(町の活性化、出産子育て:子育て支援センター) 5/13 フィールドワーク2(町の活性化、観光業:日本ヘリス株式会社) 9/9 1学期のまとめの発表 三重大学 西村副学長に助言をいただく。 10/28 中間まとめの発表 三重大学 西村副学長に指導・助言をいただく。 町のまちづくりについて知るフィールドワーク等を実施 1/20 南伊勢町長、三重大学副学長に発表、助言をいただく。 ※⑤町内の事業者訪問(5月)、小学校1.2年生へのふるさと教育(6/15)、皇学館大学での大学生へのプレゼンテーション(7/17)、第4回全国SBP交流フェア出場、横浜市立横浜総合高校との生徒交流(9/15)、県外の高校2校と遠隔会議(10/18)、10/26 南伊勢町のおさかなフェスタでマグロの解体ショー、わくどき南伊勢(11/24)、歳末物産市(12/22)でたいみー焼きの販売、セレクトギフト商品の選定、販売準備。熊本県立天草拓心高校を訪問(1/13～/16)等の活動
これからの主な予定	①2/7 フィールドワーク「防災タウンウォッチング」三重大学 水木助教他 2/14 講義「Myマッププランの作成」NPO 2/21 講義「災害から身を守る、地球を守る」三重大学 川口准教授 2/22 「2020未来!本気!フォーラムin南伊勢町」で生徒発表 ②2/22 「2020未来!本気!フォーラムin南伊勢町」で生徒発表 2/27 1年間のまとめ発表、三重大学副学長に発表、助言をいただく。 ③後期10～2月に8回予定、1年間のまとめ、振り返り。 2/22 「2020未来!本気!フォーラムin南伊勢町」で生徒発表 ※⑤2/1 小学校1.2年生へのふるさと教育

※その他

- ・度会校舎との間の遠隔授業について、授業実践を通じて課題の把握に努める。(9/27、10/29、11/21、1/28実施)。